



Daiwa House®
大和ハウスグループ

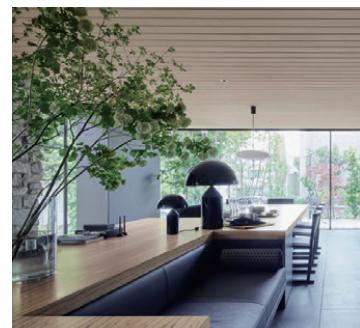
株主のみなさまへ

第83期 中間事業ご報告

自 2021年4月1日 至 2021年9月30日

目 次

株主のみなさまへ.....	1
業績ハイライト(連結).....	2
事業の概況(連結).....	3
大和ハウスグループトピックス.....	5
特集:みらい価値共創センター 開設.....	7
株式関連トピックス.....	13
株式の状況.....	14
役員一覧/株主メモ.....	裏表紙



大和ハウス工業株式会社

証券コード 1925

事業戦略・経営基盤の両面で ニューノーマルへの対応を推進してまいります。



代表取締役社長

芳井 敏一

当中間期の業績

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響を受け、厳しい経営環境にありました。政府や各行政庁による各種支援策や、新型コロナウイルスワクチン接種率の上昇等により緩やかながら回復基調にありますが、本格的な回復には時間を要するものと見込まれます。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数で持家、貸家ともに前年比プラスの状況が継続し、持ち直しの動きが見られます。住宅取得支援策の実施や生活様式の変化を背景に住宅取得への関心が高まり、新たなニーズも生じております。一般建設市場におきましては、建築着工床面積で倉庫の用途および医療、福祉用の用途で前年比マイナスとなったものの、その他全体では前年比プラスとなりました。

このような事業環境の中で当社グループは、2019年度より開始した3か年計画「大和ハウスグループ第6次中期経営計画」の最終年度を迎え、新たな成長ステージに向けた基盤の強化のため、事業本部制を本格稼働させ「攻めと守りのバランス経営」の実現に向け各施策を実行してまいりました。

以上の結果、当中間期における売上高は2兆421億円、営業利益は1,603億円、親会社株主に帰属する中間純利益は1,075億円となりました。

通期の見通し

今後の社会経済環境の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、楽観視できない状況が続くものと思われまます。

当業界におきましては、先行指標となる新設住宅着工戸数総計は持ち直しの動きが継続し、やや明るい回復の兆しが見られました。一方で供給網の混乱や原材料高、経済回復の格差等、楽観視できない状況が当面続くことが想定されます。中長期で見ると国内では世帯数の減少による新設住宅着工戸数の減少、高齢化等による働き手不足には継続して対処していく必要があります。

このような事業環境の中で、どのような難局であっても未来を切り拓く姿勢を持ち続け、前へ進むとする積極精神を持った当社グループの人財の強みを活かし、新たな成長ステージに向けた基盤の強化のため、2021年4月より事業本部制を本格稼働いたしました。今後とも変わらず「世の中の役に立つ事業の推進」を原点到、「人・街・暮らしの価値共創グループ」としてすべての人が心豊かに生きる暮らしの実現に注力してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

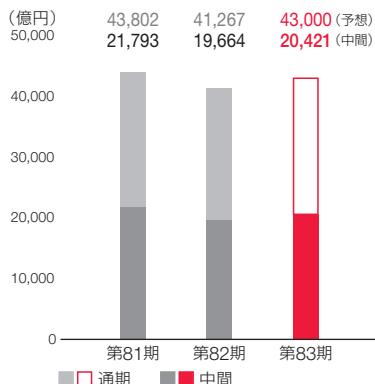
業績ハイライト(連結)

(単位：百万円)

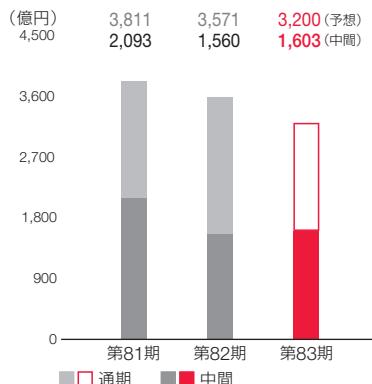
	第83期中間	第82期	第82期中間	第81期
売上高	2,042,182	4,126,769	1,966,448	4,380,209
営業利益	160,361	357,121	156,024	381,114
経常利益	161,670	337,830	150,466	367,669
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	107,582	195,076	91,329	233,603
総資産	5,339,989	5,053,052	4,841,707	4,627,388
純資産	2,013,711	1,893,504	1,805,146	1,773,388
自己資本比率	36.1%	36.3%	36.2%	37.3%
1株当たり中間(当期)純利益	164円27銭	297円18銭	138円71銭	351円84銭
1株当たり純資産	2,940円6銭	2,805円9銭	2,680円16銭	2,600円82銭

注：記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております(自己資本比率、1株当たり中間(当期)純利益および1株当たり純資産を除く)。

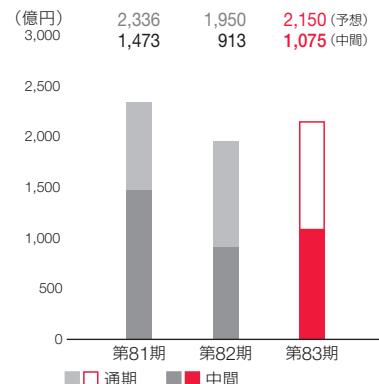
売上高(中間) **2兆421億円**
(前期比 3.9%増)



営業利益(中間) **1,603億円**
(前期比 2.8%増)



親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益 **1,075億円**
(前期比 17.8%増)



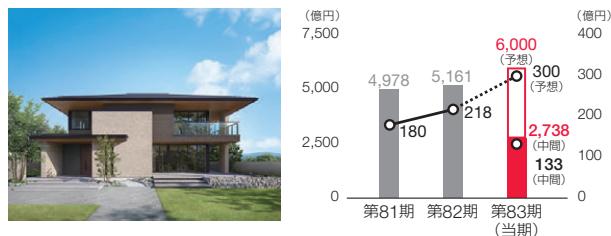
注1：記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

注2：連結業績予想は、本「株主のみならず」の作成日現在におきまして入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。今後実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

事業の概況(連結)

戸建住宅事業

- ウェブサイト上で楽しく簡単に家づくりを体験できる「Lifegenic(ライフジェニック)」の販売に注力。
- 2021年7月、「家事シェアハウス」が評価され、一般社団法人日本子育て支援協会が主催する「第2回日本子育て支援大賞2021」を受賞。
- 米国においては、コロナ禍の影響によるライフスタイルの変化に伴い郊外での住宅需要の拡大が追い風となり、Stanley Martin Holdings, LLC、Trumark Companies, LLCともに順調な業績で推移。



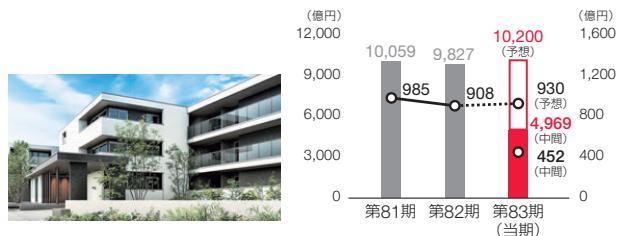
マンション事業

- 経済産業省より当社初となる「超高層ZEH-M(ゼッチ・マンション)実証事業」に採択された「プレミスタワー新さっぽろ」(北海道)が、駅直結という交通利便性の高さ、大規模複合開発による充実した都市機能が評価され、販売が順調に進捗。
- 「プレミスト奥武山公園」(沖縄県)ではモデルルームを設けず、VRを採用した住空間の再現や、ウェブによる充実した物件情報の公開に加え、オンラインを活用したご案内を行うなど、新たな販売手法を取り入れ、販売が順調に進捗。



賃貸住宅事業

- ご入居者さまに選ばれ、長く住み続けたいと思っていただける住まいを提供し、オーナーさまの資産価値の最大化に繋がる賃貸住宅経営のご提案・サポートに注力。
- 「グリーン住宅ポイント制度」の活用や、非住宅物件や分譲賃貸物件等の販売を推進。
- 大和リビングマネジメント(株)においては、ご入居者さまのニーズの高いインターネットを導入した物件を中心に、高い入居率を維持。



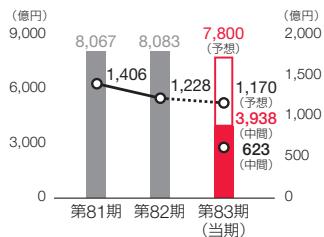
住宅ストック事業

- 戸建・賃貸住宅のオーナーさまに対し、インスペクション(点検・診断)を通じたリレーションの強化や保証期間延長のためのリフォーム提案を強化。
- 「Livness(リブネス)」事業においては、コロナ禍における営業活動としてオンラインセミナーを実施。
- オーナーさまを中心としたあらゆるお客さまの住まいのお悩みにお応えするため、リブネス課を設置し62拠点まで拡大。



商業施設事業

- 大型物件への取り組みの強化や、投資用不動産の購入を検討されているお客さまに向けて、当社で土地取得・建物建築・テナントリーシングまで行った物件を販売するなど業容の拡大を推進。
- 約60店舗のテナント構成の大型商業施設「iias(イーアス)春日井」(愛知県)が2021年10月22日に開業。
- 大和ハウスリアルティマネジメント(株)が運営するショッピングセンター「ALPARK(アルパーク)」(広島県)において、大規模リニューアルに着手。



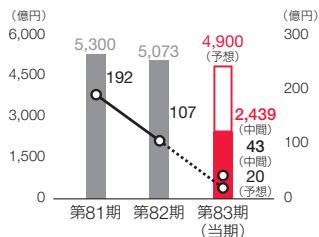
その他事業

物流事業

- 大和物流(株)において、新たに愛知県一宮市、埼玉県さいたま市、大阪府東大阪市、広島県広島市での物流拠点の開発に着手。
- (株)ダイワロジックのIT事業では顧客企業の投資拡大の流れが続き、自動化設備に関わる案件増加への対応を中心に増収増益。

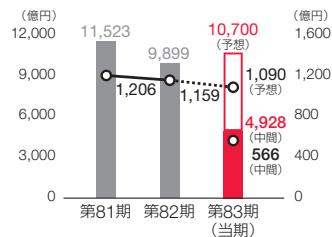
フィットネスクラブ事業

- スポーツクラブNAS(株)において、「スポーツクラブNAS東大宮(新館)」(埼玉県)をオープン。



事業施設事業

- 2021年7月に着工したマルチテナント型物流施設「DPL久喜宮代」(埼玉県)をはじめ全国9か所のマルチテナント型物流施設を着工し、豊富な経験とノウハウでお客さまの物流戦略をバックアップ。
- 事務所・工場等の拠点サポート関連では、当社開発の工業団地の事業化促進・企業誘致を強化し、また脱炭素社会に向け、省エネ建物を推進するためZEBオンラインセミナーを開催。

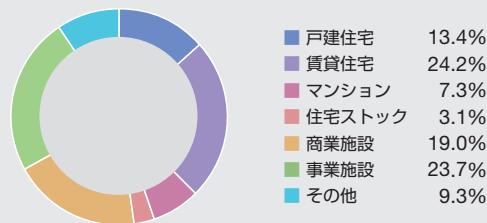


■ 売上高(左軸) ●-○ 営業利益(右軸)

注1: 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

注2: 各事業の売上高は外部顧客に対する売上高に各事業間の内部売上高等を加算して表示しております。

事業別売上高構成比



注: グループ内取引を除いた比率。

2021年

4月

5月

6月

大規模複合開発プロジェクト 「船橋グランオアシス」完成

「船橋グランオアシス」(千葉県)は北側に集合住宅街区として、分譲マンション、賃貸住宅を配し、南西側に戸建分譲住宅街区として26区画、南側には商業施設街区を建設した事業面積57,456m²(東京ドーム約1.2個分)の大規模複合開発プロジェクトです。

このたび、日本初*の「施工」から「暮らし」まで実質再生可能エネルギー電気を100%供給するまちが完成いたしました。

* 当社調べ。



船橋グランオアシス

日本最大級のサーモン陸上養殖施設着工

当社は、静岡県駿東郡小山町にある当社所有の工業団地「D-Project Industry 富士小山 I」において、Proximar Seafood AS(プロキシマーシーフード社)のアトランティックサーモンの閉鎖型陸上養殖施設を着工いたしました。当施設は、断熱性能を高めることで、アトランティックサーモンの育成に配慮した、鉄骨造(一部2階建て)、延床面積約28,000m²の日本最大級のサーモン陸上養殖施設で、2023年6月に竣工を予定しております。



外観イメージ

(株)三井住友銀行より「SDGs推進融資」の実施

(株)コスモスイニシアにおける、アクティブシニア向け分譲マンション事業を通じた高齢者が生き生きと暮らせるまちづくりの促進等の取り組みについて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると評価され、(株)三井住友銀行より「SDGs推進融資」が実施されました。「SDGs推進融資」は(株)三井住友銀行が提供する融資商品のひとつであり、融資実行に際し、(株)三井住友銀行と(株)日本総合研究所が、企業のSDGsに関する取組状況を確認したうえで、本業を通じたSDGs貢献への道すじ(ロジック)を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等を提供されるものです。(株)コスモスイニシアは今後も、商品・サービスの提供を通じた社会課題の解決に取り組んでまいります。

BUILDER誌の2021年 「ビルダー・オブ・ザ・イヤー賞」に選定

当社グループのStanley Martin Homes, LLC(以下「スタンレー・マーチン・ホームズ社」)は、コロナ禍における高成長と迅速な事業対応、顧客ニーズへの配慮等が評価され、米国の住宅建設業界雑誌「BUILDER」において、2021年「ビルダー・オブ・ザ・イヤー賞」に選定されました。

スタンレー・マーチン・ホームズ社は1966年に設立され、米国南東部のバージニア州レストンに本社を置く、ホームビルダーです。「人々に愛される家を、手の届く価格でデザインし、建設する」というミッションの実現に向けて邁進しております。コロナ禍においても、現場の安全性の確保や資材不足への対応に取り組むとともに、事業展開エリアでの堅調な成長を続けております。2021年9月には、米国南東部フロリダ州で戸建住宅事業を展開するAvex Homes, LLC(エイベックス・ホームズ社)の事業を譲受し、米国でのさらなる事業エリア拡大を図ってまいります。

7月

8月

9月

東広島市および周辺地域におけるSociety5.0やスマートシティの実現に向けた包括的な連携推進に関する協定を締結

国立大学法人広島大学、東広島市、(株)フジタ(以下総称して「3者」)は、東広島市および周辺地域におけるSociety5.0やスマートシティの実現等に関して、「包括的な連携推進に関する協定」を締結いたしました。3者は本協定を通じて、地方創生の新たな産官学連携モデルを目指しております。本協定は、イノベーションを創出する環境の形成、学術研究、人材育成や産官学連携等の国際的な展開を推進し、日本および地域から世界の発展に寄与することを目的としております。

ソーラーパネル搭載型立体駐車場発売

大和リース(株)は、最上階部分にソーラーパネルを標準搭載した自家発電型の立体駐車場を開発し、販売を開始いたしました。駐車場内の設備電源に再生可能エネルギーを活用する環境に配慮した商品で、脱炭素社会の実現に貢献できます。外壁に壁面緑化、木材を採用することで、周辺環境と調和した外観デザインにすることも可能です。



外観イメージ

物流施設「(仮称)東大阪宝町物流センター」着工

大和物流(株)は、大阪府東大阪市において、延床面積約28,000m²の物流施設「(仮称)東大阪宝町物流センター」を着工いたしました。

大阪府は、臨海部や内陸部を中心に商工業が発展しており、営業倉庫の入庫高が全国2位^{*1}と、堅調な物流需要が続いております。特に内陸部では、交通利便性の高さから商業施設やマンションの建設が進んだことで大規模な用地が不足する中、BCP^{*2}の観点から津波や高潮等の自然災害リスクが低い地域として物流施設開発の需要が高まっております。

今後、本センターは近畿に拠点を置くメーカーや流通業者向けの保管・輸配送拠点として同社が運営してまいります。

^{*1} 国土交通省「倉庫統計季報」より(2020年6月末時点1~3類倉庫の入庫高トン数)

^{*2} Business Continuity Plan(事業継続計画)



外観イメージ

「みらい価値共創センター」開設

当社は奈良市に研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」を開設いたしました。

本施設は、創業者 石橋信夫の生誕100周年を迎える2021年の開設を目指し、2019年7月に奈良研修センター跡地および奈良工場の一部敷地において着工いたしました。従前の奈良研修センターの約3.5倍の延床面積を有し、先進的な設備・体制を取り入れた次世代研修センターです。

今後、本施設は国内外の社員利用はもちろんのこと、子どもから高齢者まで幅広い地域住民や異業種の企業、研究機関等との交流施設としても運営してまいります。



みらい価値共創センター

特集

大和ハウスグループ みらい価値共創センター 開設



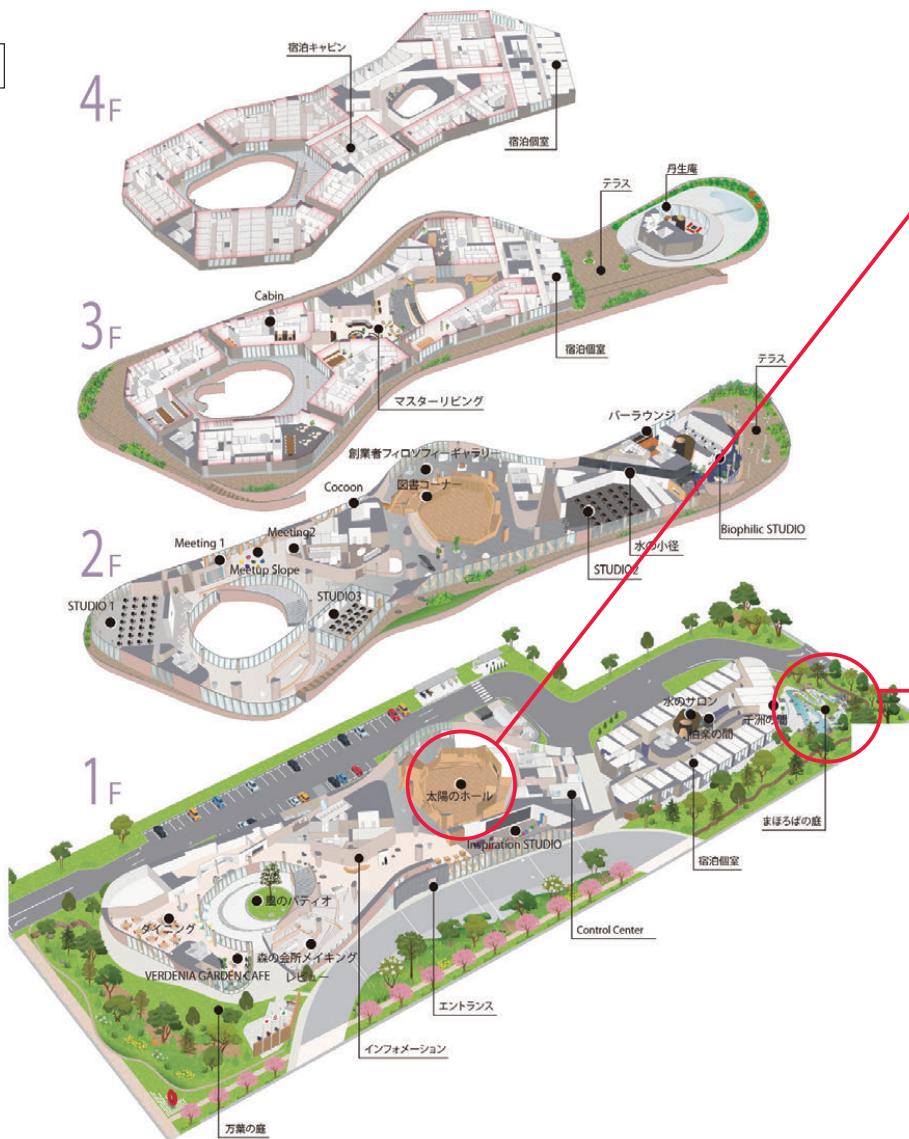
2021年10月、人財基盤のさらなる強化のため、創業者 石橋信夫のゆかりの地である奈良県に、地域住民と新しい価値を創出できる研修施設「大和ハウスグループ みらい価値共創センター」を開設いたしました。

施設概要

構造	鉄骨造
敷地面積	18,251.37m ²
建築面積	7,121.24m ²
延床面積	17,048.07m ²
階数	地上4階建て
建物高さ	19.66m
所在地	奈良県奈良市西九条町
開設	2021年10月1日

創業者 石橋信夫が21世紀の事業として説いた **風** **太陽** **水** というテーマ。これら3つのゾーンに分けられたセンター内には、自由に議論を交わして新たな価値を生み出すための仕掛けが散りばめられています。

Floor Map



太陽のホール



500名が観覧できる、ワイナード形式の多目的ホール。当社ゆかりの地である奈良の県産材、とりわけ創業者石橋信夫生誕の地である川上村の特産品【吉野杉】をふんだんに使用し、圧倒的な木質感と芳醇な香りに満ちた、温もりの音場空間としております。

四層吹抜けのトップライトからはルーバー越しの柔らかな自然光が注がれ、ホールを優しく包みます。センシング(温湿度・粉塵・気象条件)により上部換気窓の開閉を制御、自然環境を最大限享受するオープンなホール空間です。



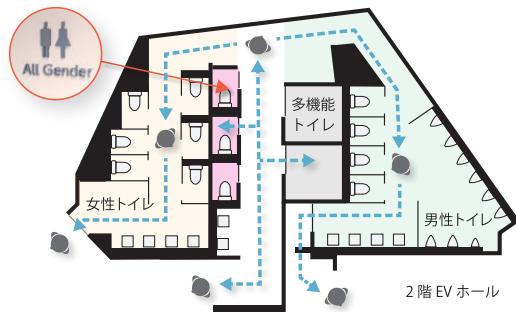
まほろばの庭



創業者 石橋信夫の故郷に流れる吉野川の奥深い源流風景を再現いたしました。街中にいることを忘れるような水の音が癒しをもたらします。また、池の水は雨水を濾過したものを循環させております。木育カリキュラムと共に、人も森も、100年を見据えた成長を目指してまいります。

多様な利用者に配慮した設計

国内外の多様な利用者を想定し、祈祷室や性別に依存しないALLジェンダートイレ等の設備を設置いたしました。



■ ALLジェンダートイレ

性別に関係なく、利用者が気兼ねなく使えるトイレです。サインや動線も既成概念にとらわれない、多様な利用者に配慮された設計をしております（男性用と女性用トイレは、出入口が別になっております）。



■ 授乳室

子育てをしながら仕事や学びを続けられるよう、環境整備の一環として、リラックスできる授乳室を用意いたしました。産休、育休から早期復帰される授乳期間中の女性のために、母乳を適切に保存できる冷蔵庫を設置するなどの配慮もしております。



■ 祈祷室

さまざまな文化的背景をもつ人々の生活習慣を想定して、宿泊スペース付近に設けました。宗教や宗派を問わず利用できます。

水の恵みを活かした環境への取り組み

帯水層蓄熱システム「ATES(エーテス)」をはじめとした自然エネルギーの活用等、先進的な省エネ技術を採用いたしました。

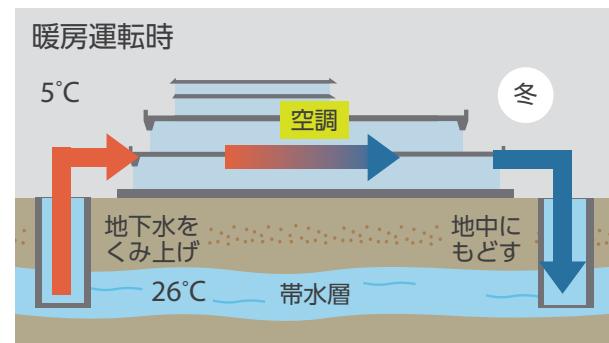
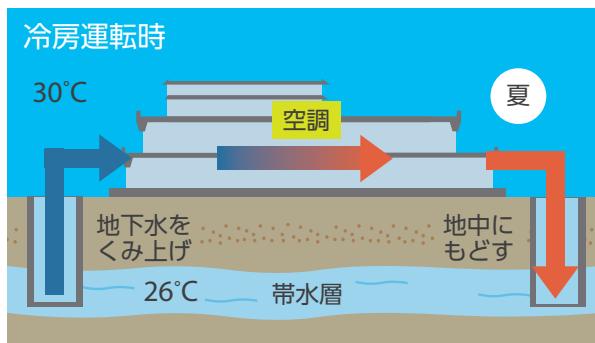
■ 安定したエネルギーを確保できる 帯水層蓄熱システム「ATES」



本施設では、年間を通して一定の温度を保つ地下水の特性を建物の空調に利用する帯水層蓄熱システム「ATES」を採用いたしました。

再生可能エネルギーでは、太陽光や風力が一般的によく利用されていますが、気候の変動の影響を受けやすく安定的な供給が課題です。そこで年間を通じて温度が一定であり安定した再生可能エネルギー(熱)である地中熱(地下水)の利用に着目いたしました。

国内で地中熱利用として比較的普及しているのはクローズドループ方式ですが、本施設では、より熱効率の高いオープンループ方式を採用しております。オープンループ方式では地下水の採取規制や水質の課題をクリアする必要がある一方で、採熱効率が高く、運転時間により熱源温度が変動しないため熱源として安定した出力を維持いたします。



本施設の「ATES」では、冷房運転時には外気温度と比較して冷たい地下水を、暖房運転時は温かい地下水を井戸から揚水してそれぞれ利用いたします。井戸から揚水した地下水は「熱のみ」を利用し、帯水層へ全量還水いたします。

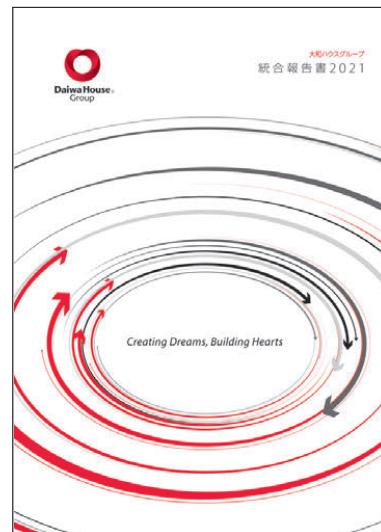
株式関連トピックス

■「大和ハウスグループ統合報告書2021」を発行

当社は事業戦略や財務状況等の財務情報とESG等に関する非財務情報をまとめた「大和ハウスグループ統合報告書2021」を発行いたしました。

“大和ハウスグループの価値創造”に欠かせない3つの経営基盤（人財基盤、顧客基盤、技術・ものづくり基盤）と、一気通貫で社会に貢献し続ける当社の強み（複合的な事業提案力）や、価値創造プロセスをご紹介しながら、創業者精神を軸とした経営ビジョンの実現に向けた取り組みをまとめております。

当社は本誌を株主・投資家のみなさまとのコミュニケーション・ツールとして活用してまいります。



▶「大和ハウスグループ統合報告書2021」をご覧くださいませ



QRコードから誘導されるサイトについてのご注意

- ・紙面に掲載のQRコードを、スマートフォンやタブレット端末で読み取ってください。
- ・当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更もしくは削除することがあります。
- ・QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

ご案内：統合報告書2021は、印刷物のご用意はございません。IR情報ウェブサイトに掲載のPDFにてご覧ください。

「野村IR資産運用フェア2022」へ参加いたします。

パソコンやタブレット端末から参加できる個人投資家さま向けIRフェア「野村IR資産運用フェア2022」へ参加いたします。当社からは、事業を通じた社会課題への取り組みと、株主還元に関する考え方について、ご説明いたします。

プレゼンターは、代表取締役副社長(CFO)香曾我部 武が務めさせていただきます。

当社プレゼン配信日時

2022年1月8日(土)13:15~13:45
(アーカイブ配信期間:1月12日~1月31日)



代表取締役副社長(CFO)
香曾我部 武

野村IR資産運用フェア2022

1/7(金)~1/8(土)

1/7(金) 8:00~
1/31(月) 15:00(24)

オンライン開催

野村IR資産運用フェア

検索

<https://fair.nomura-ir.co.jp>

主催：野村インバスター・リレーションズ(株) 共催：野村証券(株)

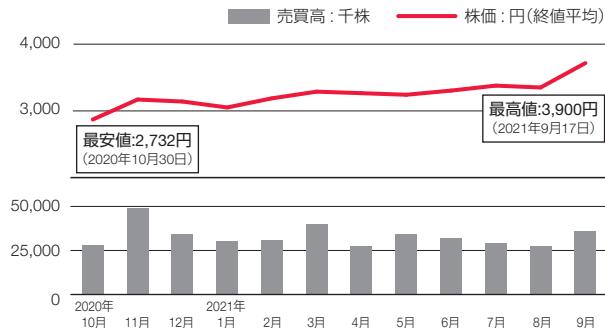
株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,900,000,000株
 発行済株式の総数 666,238,205株
 株主数 48,983名
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	103,556	15.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	40,169	6.13
株式会社三井住友銀行	16,117	2.46
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	15,336	2.34
大和ハウス工業従業員持株会	13,476	2.06
日本生命保険相互会社	11,944	1.82
株式会社三菱UFJ銀行	10,829	1.65
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	9,729	1.48
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	8,764	1.34
JPモルガン証券株式会社	8,722	1.33

注1: 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 注2: 当社は自己株式10,701千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 注3: 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 注4: 持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

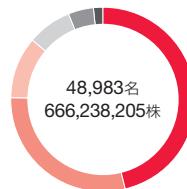
株価と売買高の推移(東京証券取引所)



配当の状況

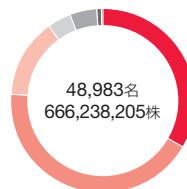
	1株当たりの年間配当金		
		中間	期末
2022年3月期	126円00銭(予定)	55円00銭	71円00銭(予定)
2021年3月期	116円00銭	50円00銭	66円00銭
2020年3月期	115円00銭	55円00銭	60円00銭

所有者別株式分布状況



- 金融機関 189名 308,867,461株 (46.36%)
- 外国人 967名 192,924,215株 (28.96%)
- 個人・その他 46,425名 72,863,596株 (10.94%)
- その他国内法人 1,359名 51,254,069株 (7.69%)
- 証券会社 42名 29,626,873株 (4.45%)
- 自己名義株式 1名 10,701,991株 (1.61%)

所有株数別株式分布状況



- 10,000,000株以上 8名 222,131,478株 (33.34%)
- 1,000,000株以上 93名 285,557,937株 (42.86%)
- 100,000株以上 298名 92,993,083株 (13.96%)
- 10,000株以上 1,063名 28,436,249株 (4.27%)
- 1,000株以上 14,492名 30,261,074株 (4.54%)
- 100株以上 27,094名 6,691,351株 (1.00%)
- 100株未満 5,935名 167,033株 (0.03%)

注1: ()内は発行済株式の総数に占める割合を表示しております。
 注2: 小数点以下第3位を四捨五入して表示しておりますので、合計が100%にならない場合がございます。

IR情報メール配信サービスのご案内

決算情報などIR関連の最新情報をメールでお届けしております。配信をご希望の方は、IR情報ウェブサイトの入力フォームに、必要事項をご入力の上お申し込みください。

IR情報ウェブサイトはこちらから



大和ハウス工業 IR情報

検索

<https://www.daiwahouse.com/ir/>

役員一覧 (2021年10月1日現在)

取締役

代表取締役社長	芳井 敬一
代表取締役副社長	香曾我部 武
取締役副社長	村田 誉之
取締役常務執行役員	大友 浩嗣
取締役常務執行役員	浦川 竜哉
取締役常務執行役員	出倉 和人
取締役常務執行役員	有吉 善則
取締役常務執行役員	下西 佳典
取締役常務執行役員	一木 伸也
取締役(社外)	木村 一義
取締役(社外)	重森 豊
取締役(社外)	藪 ゆき子
取締役(社外)	桑野 幸徳
取締役(社外)	関 美和

監査役

監査役	中里 智行
監査役	前田 忠利
監査役(社外)	織田 昌之助
監査役(社外)	渡邊 明久
監査役(社外)	岸本 達司

常務執行役員

岡田 恵吾	山田 裕次
佐々木 幹雄	宮武 孝之
山崎 考平	田村 哲哉
廣森 隆樹	永瀬 俊哉
柴田 英一	

上席執行役員

中村 康夫	能村 盛隆
原納 浩二	橋本 好哲
濱 博文	河野 宏
石橋 信仁	中尾 剛文
片岡 幸和	名島 弘尚
水谷 勲	落合 滋樹
南川 陽信	仁部 数典
和田 哲郎	高松 幸男

執行役員

杉浦 雄一	野辺 克則
橋本 英治	諏訪 和美
小柳出 隆一	松山 竜蔵
河村 太郎	北 真夫
富樫 紀夫	茂木 啓一
金井 雅孝	渡辺 靖彦
竹林 桂太郎	民谷 秀人
岩淵 義徳	高吉 忠弘
八田 政敏	向井 和也
泉本 圭介	森角 義宗
杉本 昌文	松葉 明
吉岡 憲一	八田 哲男

株主メモ

社名	大和ハウス工業株式会社 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., LTD.
本社	大阪市北区梅田三丁目3番5号
資本金	161,699,201,496円
社員数(連結)	49,391名
決算期	毎年3月31日
基準日	
定時株主総会	3月31日
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 (特別口座管理機関) の郵便物送付先 および電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031
上場証券取引所	東京
証券コード	1925

株式に関する諸手続きについて

- 当社株式に関する諸手続き(住所変更、姓名等の変更、単元未満株式の買取・買増の請求等)につきましては、株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関する諸手続きにつきましては、上記特別口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社)にお申し出ください。
- 未受領の配当金につきましては、上記株主名簿管理人(三井住友信託銀行株式会社)にお申し出ください。

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

© Copyright 2021 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., LTD. All rights reserved.

森林育成紙™使用

